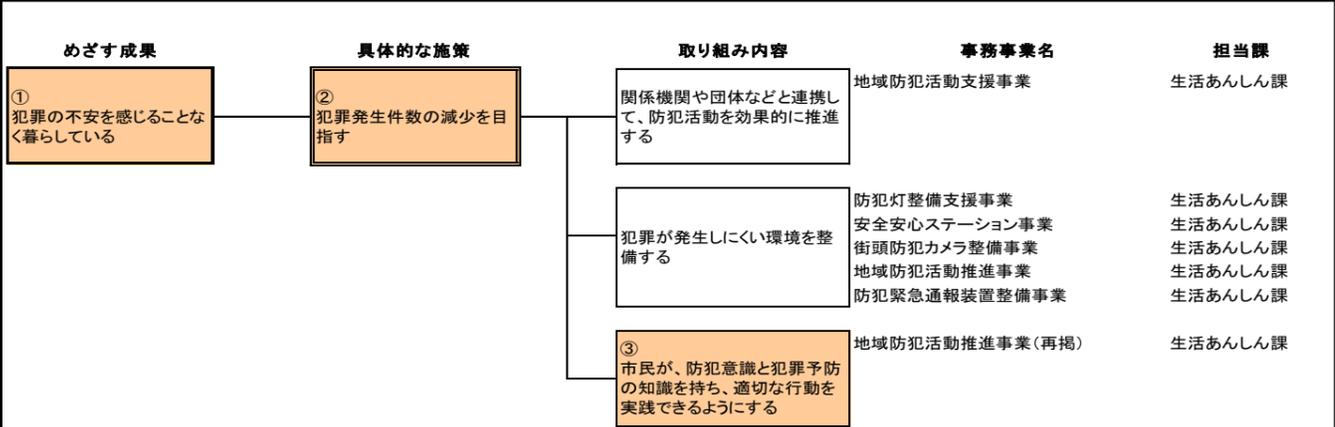


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

3-1-1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	生活の安全性を高める
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている 市民の防犯意識が高まり、地域の防犯活動が進む中で、窃盗などの犯罪にあうことが少なくなっています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



* 再掲・・・複数の「取り組み内容」に係る事業について表示しています。

総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合		年間犯罪発生件数		防犯パトロールを実施している自治会の割合	
計画策定時	34.8%	計画策定時	4,040件	計画策定時	66.3%
現状値		現状値	3,377件	現状値	72.7%
実績値 (H22)		実績値 (H22)		実績値 (H22)	
中間目標値 (H23)	40.0%	中間目標値 (H23)	3,750件	中間目標値 (H23)	70.0%
目標値 (H25)	50.0%	目標値 (H25)	3,500件	目標値 (H25)	80.0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	<p>【犯罪発生件数の減少を目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市防犯協会が行う、功労者の表彰や防犯キャンペーン、市民まつりでのコーナー設置などへの支援を通じ、市民に対して防犯意識の啓発に努めました。 ・自主防犯活動を行っている団体に対して、活動物品の購入費や青色防犯パトロールに要する経費を補助することにより、地域の防犯活動が活発に行われるよう支援しました。 ・民間の防犯活動団体との協働などにより、地域や保育園、学校などにおいて防犯教室を25回開催し、個人の犯罪に対する知識の向上を図りました。 ・公用車による青色防犯パトロールの実施や、国の緊急雇用創出事業を活用した青色防犯パトロール等の実施を通して、犯罪発生の抑止に取り組みました。 ・メール配信サービス、広報やまとなどにより、市民へ犯罪発生情報を提供しました。 ・自治会連絡協議会と協力して、防犯灯の整備を行いました。 ・交番設置について、地元から強い要望があった高座渋谷駅前に設置した安全安心ステーション高座渋谷を運営し、体感治安の向上に努めました。 ・大和駅前広場に街頭防犯カメラを14台設置し、犯罪発生の抑止及び市民等の体感治安の向上を図りました。 ・大規模公園に防犯緊急通報装置を設置しました。
----------	---

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> ・市内では、犯罪発生認知件数が一時期より大幅に減少していますが、地域別に見ると県内では常にトップクラスの件数であり、犯罪の抑制には今後も力を入れていく必要があります。市として継続的に防犯活動を行うことはもちろんですが、限られた人と財源では自ずと限界があります。そのため、環境整備や金銭的な補助などにより地域住民の方々の防犯活動を支援することにより、警察や行政の手の届かないところへのきめ細かな対応が期待でき、犯罪発生に対して大きな抑止に繋がると考えられます。
-------------------------	---

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのパトロールやキャンペーンによる犯罪抑止活動により、犯罪認知件数は減少しているものの、依然として犯罪に対する不安を感じる市民の声があることから、既設の街頭防犯カメラの維持管理に加え、必要に応じて駅周辺などに新たな街頭防犯カメラを設置するなど、今後も防犯対策の充実を検討していく必要があります。 	（該当する事務事業） 地域防犯活動推進事業 防犯カメラ整備支援事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の整備を継続するとともに、次世代の防犯灯として、環境に配慮したLED防犯灯の普及について検討していきます。 	（該当する事務事業） 防犯灯整備支援事業

施策への提言

総合計画審議会記入欄	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯には、犯罪を抑えることと、被害に遭わないように気をつけることの二つの側面があり、青色防犯パトロールの実施は、市民に犯罪に遭わないように防犯意識を高めていくための効果と、犯罪者に対しての犯罪抑止の効果との双方が期待できる有効な手段であります。しかしながら、犯罪を減らしていくことを考えた場合、より一層、効果をあげる余地があると思われるので、今後も引き続き、改善改革の検討を行ってください。 ・犯罪発生件数や体感治安は、地域によって違うと思われることから、大和市全体をマクロで捉えた対策と、より狭いエリアで捉えた対策の双方の必要性について、検討する必要があると考えます。 ・夜間の大和駅では通行人が不快に感じる客引き行為などがあり、大和駅の利用を避ける人がいます。県警や周辺自治会などと連携のうえ、至急、対応策を講じる必要があると考えます。
------------	---